



増刊号

更生刻々

法務省東京矯正管区更生支援企画課

☎048-600-1560 (直通)

✉ 1.toukyoukyousei.j7u@i.moj.go.jp

ホームページ

http://www.moj.go.jp/kyousei1/
kyousei08_00101.html



令和5年4月12日発行

第3回再犯防止・更生支援セミナー

プログラム

講演1 《施設内における支援》

・「ハローワークと連携した就労支援の現状」

川越少年刑務所就労支援専門官

長谷川 元宏氏

・「少年鑑別所における保護観察対象者の雇用」

東京少年鑑別所庶務課長 土屋 亮氏

講演2 《社会内における支援》

・「刑務所出所者等に対する就労支援」

横浜保護観察所社会復帰対策官

国分 智可子氏

・「就労支援事業者機構の役割」

神奈川県就労支援事業者機構事務局長

竹内 政昭氏

講演3 《地域における支援》

「刑務所出所者の受入れについて」

社会福祉法人邑元会

障害者支援施設しびらき施設長

相浦 卓也氏

桜区障害者生活支援センターさくらとぴあ管理者

仲田 裕哉氏

しびらき通り商店街支援主任・ファーム園長

丸山 翔太氏

就労支援で 生きる力



当管区会場で視聴する聴講者

第3回再犯防止・更生支援セミナーを3月7日、東京矯正管区を拠点にオンライン形式で開催しました。テーマは「刑務所出所者等の就労支援、その先へ」。7人の講師がそれぞれの立場から、「働く＝生きる」というかけがえのない価値を語り掛け、支援の切実さへの理解と行動の深まりを呼び掛けました。

東京矯正管区 佐伯第一部次長 あいさつ

現在、法務省におきましては、令和5年4月からスタートする次期再犯防止推進計画の策定に向けた準備が進められているところです。次期計画下におきましても、地方公共団体や民間協力者の皆様と連携しながら、再犯防止に関する取組を一層推進してまいり所存ですので、引き続きご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本日のセミナーでは、「刑務所出所者等の就労支援」をテーマに取り上げました。統計では、無職者と有職者では再犯率が大きく異なってお

り、犯罪をした人たちが再犯や再非行に至らないためには、仕事に就き、職場に定着して、責任ある社会生活を送ることが重要となってきます。

就労の確保に向けた国の取組は着実に成果を上げてきている一方で、雇用された後も人間関係のトラブルなどから離職してしまう者が少なくないなど、依然として課題もあります。

本日のセミナーを通じて皆様に実情を知っていただき、どのようなことが更に必要であるかを考えていただく契機となれば幸いです。

《施設における支援》

川越少年刑務所就労支援専門官
長谷川 元宏氏

川越少年刑務所からは、刑務所とハローワークが連携して行った就労支援の現状について報告いただきました。

川越少年刑務所では、就業能力が不十分な支援対象者に対して、



職場に定着させるためにも、刑務所在所中に自己理解や仕事理解を深めるとともに、社会人基礎力を高めることに尽力されています。

令和3年の就労支援状況として、出所者のうち、就労支援対象者は約3割で、その就労支援対象者の就職内定率も約3割であるところ、今後更に拡大させていくと意気込んでいました。

講演 1

東京少年鑑別所庶務課長
土屋 亮氏



今年度、東京少年鑑別所で雇用した保護観察対象者について、業務だけでなく、職員に相談や質問等をしながら徐々に社会生活のリズムをつかんでいき、社会で就職することができたという好事例を紹介いただきました。

《社会内における支援》

横浜保護観察所社会復帰対策官

国分 智可子氏

横浜保護観察所からは、刑務所出所者等に対する就労支援や、刑務所出所者等の前歴等を理解した上で雇用しその社会復帰に協力する事業主である協力雇用主に対する支援等についてお話しいただきました。そのうち、刑務所出所者等に対する就労支援については、矯正施設やハローワークと連携を強化して就労支援を総合的に実施したり、民間の就労支援事業所に委託して、きめ細かな寄り添い型の支援を実施したりしています。



講演 2

神奈川県就労支援事業者機構事務局長

竹内 政昭氏



神奈川県就労支援事業者機構からは本機構の役割や支援の概要についてお話しいただきました。

同機構では、横浜保護観察所と連携しながら、支援対象者と企業とのマッチングや、採用面接に同席するなどして就職活動を支援するほか、就職先が決まらない満期釈放者への対応をしたり、協力雇用主に関する情報を提供したりするなど、精力的に活動されています。

《地域における支援》

社会福祉法人
邑元会しびらき
障害者支援施設
しびらき施設長
相浦 卓也氏



講演 3



社会福祉法人
邑元会しびらき
桜区障害者生活
支援センター
さくらとびあ管理者
仲田 裕哉氏



社会福祉法人
邑元会しびらき
しびらき通り商店街
支援主任・ファーム
園長
丸山 翔太氏

社会福祉法人邑元会しびらきからは、刑務所出所者の受入れの現状について、運営、管理、指導者の立場からそれぞれお話しいただきました。同法人は、平成14年に知的障害者更生施設をさいたま市に開設し、現在は埼玉県内の各地に障害者支援施設のほか、共同生活援助や就労継続支援など幅広い事業所を運営されています。

同法人は、運営するグループホームと観光農園（就労移行支援、就労継続支援B型）に1名の刑務所出所者を受け入れていただいた実績があります。

実際に刑務所出所者を受け入れるに当たり、初めは「出所者」というマイナスイメージが大きかったが、次第に「支援が必要な人」という見方へ変わり、適切な支援を行っていくという使命感が芽生えていったという、受入側の正直な気持ちの変化や、対象者にとっての「居場所」となるように日々葛藤しながら活動されているご苦労についてもお話しいただきました。

そして、刑務所出所者等を始めとした生きづらさを抱える人にとって福祉施設に限られた支援者だけに支えられた異空間とならないように、地域との共生を目指し、関係機関との更なる連携に期待して活動していくと熱く語られました。

「多摩少年院の歴史を感じる展示も見るのが貴重でした。ツアー終盤に設けられた質疑応答も活発に行われ、参加者の少年矯正への関心の高さをうかがい知ることができました。本ツアー実施後のアンケートには、「理解が深まりました」「大変有意義な時間でした」「今後とも支援を頑張りたい」といった感想が見られました。

「本ツアーでは、多摩少年院長による施設概況説明の後、施設内を見学しました。実習棟、寮、体育館、農場など、在院者のふだんの生活の様子が分かることや、今年、創立百周年を迎えた多摩少年院の歴史を感じる展示も見るのが貴重でした。ツアー終盤に設けられた質疑応答も活発に行われ、参加者の少年矯正への関心の高さをうかがい知ることができました。本ツアー実施後のアンケートには、「理解が深まりました」「大変有意義な時間でした」「今後とも支援を頑張りたい」といった感想が見られました。

「本ツアーでは、多摩少年院長による施設概況説明の後、施設内を見学しました。実習棟、寮、体育館、農場など、在院者のふだんの生活の様子が分かることや、今年、創立百周年を迎えた多摩少年院の歴史を感じる展示も見るのが貴重でした。ツアー終盤に設けられた質疑応答も活発に行われ、参加者の少年矯正への関心の高さをうかがい知ることができました。本ツアー実施後のアンケートには、「理解が深まりました」「大変有意義な時間でした」「今後とも支援を頑張りたい」といった感想が見られました。

少年院のリアル 肌感覚で

多摩少年院スタディツアー



施設概況を説明する多摩少年院長

「本ツアーでは、多摩少年院長による施設概況説明の後、施設内を見学しました。実習棟、寮、体育館、農場など、在院者のふだんの生活の様子が分かることや、今年、創立百周年を迎えた多摩少年院の歴史を感じる展示も見るのが貴重でした。ツアー終盤に設けられた質疑応答も活発に行われ、参加者の少年矯正への関心の高さをうかがい知ることができました。本ツアー実施後のアンケートには、「理解が深まりました」「大変有意義な時間でした」「今後とも支援を頑張りたい」といった感想が見られました。」